

令和元年度
学校関係者評価報告書

令和2年5月
学校法人すみれ学園
四国医療技術専門学校

1.学校関係者評価委員

学校評価委員

- 泉 秀明 委員長 (土橋協立病院)
久枝 正実 委員 (愛媛県立中央病院 臨床工学部 担当係長)
白方 三喜 委員 (松山聖陵高等学校 教頭)
谷崎 繭友美 委員 (愛媛県保険医協会、本校卒業生)
花山 美保 委員 (本校在校生保護者)

学校

- 内田 洋行 (校長)
成高 有哉 (臨床工学学科 学科長)
掛川 さゆり (医療情報学科 学科長)
岡部 達紀 (事務課 課長)

事務局

岡部 達紀(事務課 課長)、田中 康裕(事務課)

2.学校関係者評価の実施方法、公表

学校関係者評価の実施にあたっては、自己点検評価の事前送付による内容確認後、学校評価委員会の中で各担当者より詳細の説明を行い、評価結果について意見を頂きました。頂いた意見については、報告書に取りまとめホームページに公表し、今後の教育活動や学校運営の改善に活かします。

3.学校関係者評価委員会開催日時

令和2年5月23日(土) 14:00~15:15

- 1.開会
- 2.職員及び学校評価委員紹介
- 3.自己評価説明
- 4.質疑応答
- 5.閉会

2019年度 学校評価委員会 質疑応答事項

(1) 白方氏より

合宿（国家試験対策）について

高等学校では、コロナウイルス感染拡大防止対策として休校措置を取っていたが、休校期間中の試験対策の有無で、国家試験合格率に影響を受けたと考えられることがあった。

今後、感染症などの影響があれば集団生活を伴う合宿などは難しくなる為、事態に合わせた対応を考えていた方が良いのではないかと。

(2) 掛川学科長より

臨床実習について、医療機関は受け入れ可能であるか。

（解答）

泉氏より

コロナウイルス感染終息の先が見えない。しかし、学生にとって臨床実習は重要であり行うべきだと思う。学校側は行う方向で進めるべきではないか。当院は受け入れ可能。

久枝氏より

県立中央病院では、先日の会議で今年度、医師の臨床実習の受け入れはしないと決定された。他の職種の実習はコロナウイルスの影響が落ち着けば可能になるかもしれないが先が見えていない為、様子を見ている状況。

谷崎氏より

コロナウイルスの影響で、実習を対応できる職員が減ってきている。今まで通りの臨床実習は難しいのではないかと。

卒業生の立場としては、臨床実習で学んだことは多く、在校生にも経験して頂きたい。

成高学科長より

臨床実習は学生のモチベーション向上にもつながるため、日程を減らして対応するようになったとしても依頼していきたいと考えている。

特に透析業務をしている病院は、実習生受け入れに対する返答がまちまち。

国からの返答として臨床実習が難しい場合、学内実習で読み替えることも許可が出ている。

(3) 岡部課長から白方氏へ
入学生募集について

(解答)

白方氏より

コロナウイルスの影響で休校したことに対する対処として、夏休みを短くする(7月30日まで学校)また、冬休みも短くなる可能性もある。

校内の進路説明は5月25日以降から始める。

高校側は、中学生に対する説明会は5月28日から始まる。

進路指導に関して、本格的に開始されるのは後期にずれるのはないか。